



世界共通の問題である気候変動に対し、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量削減に町民・事業者・行政が一体となって取り組むため、シンポジウム「千年にのみや地球会議」の中でにのみやゼロカーボンシティを表明しました。



にのみや ゼロカーボンシティ 宣言

～ 自然と共生する豊かな未来を目指して ～

地球温暖化を起因とする気候変動の影響は年々深刻化しており、平成30(2018)年10月に公表された「IPCC1.5℃特別報告書」では、[気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、令和32(2050)年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロ(カーボンニュートラル)にすること]が求められています。

国では、カーボンニュートラルの実現に向けて、地域脱炭素ロードマップを公表して地方創生の促進を図るとともに、温室効果ガスの排出削減と経済成長の両立を目指した新たな方策として、GX(グリーンTRANSフォーメーション)によるクリーンエネルギーへの転換を推し進めています。

このような動向の中、二宮町では、気候変動による非常事態を町民・事業者・行政それぞれが「自分事」として捉え、より多くの方々が地球温暖化対策に取り組むことが重要となることから、「二宮町気候非常事態宣言」の発出や「にのみや気候市民会議」の開催、「二宮町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の策定を行い、「千年続く循環するまちづくり」の歩みを進めて参りました。

令和6(2024)年8月に発生した台風10号による記録的な豪雨は、気候変動の脅威がもはや遠い世界の話ではなく、私たちの暮らしのすぐそばにある現実であることを改めて示しました。

二宮町は、誰もが安心して暮らし続けられるよう、災害に強いまちづくりを一層推進するとともに、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な社会の構築を目指しています。

私たちは、豊かな自然と共生する未来を築くため、町民・事業者・行政が一体となり、世代や立場を超えて協働・共創し、「ゼロカーボンシティ」の実現に取り組むことを、ここに宣言します。

令和7年3月29日

二宮町長 **村田邦子**



第20回エコフェスタにのみや2025を開催します！

とき 5/17日13:00～16:00 5/18日9:30～16:00

ところ ラディアン

その他 イベント詳細は、ホームページをご確認ください。

共催 環境づくりフォーラム

ID
検索
1837

ロゴマークがついている記事は、町制施行90周年記念冠事業です。

